

⑨センター広報

【専用ウェブサイト】（P.13～18参照）

こうべ動物共生センターのコンセプトや事業内容について情報発信を行うと共に、各事業の参加者募集案内や事業実施レポートを随時更新し、こうべ動物共生センターおよび事業のPRを行った。資料・報告を専用ウェブサイト上で提供することで、来所できない市民への利便を図っている。しつけ方教室や飼養相談およびその対策等については事例として紹介して市民に情報を提供している。こうべ動物共生センターで実施している事業の成果を活用し、市民の様々な課題に対し、解決・相談の場が整備されていることを報せている。専用ウェブサイトは日本語だけでなく、英語、ドイツ語、中国語などにも対応し、国内外への情報発信も行った。このように、専用ウェブサイトは、市民がこうべ動物共生センターの事業に参加するなどして関わる「市民とのコミュニケーションの場」として、「国内外への広報」として、重要な役割を担っている。



トップページに配置のスライド式バナーは、各事業の様子がダイレクトに伝わる写真を活用し、各事業の紹介ページにリンクを貼り、バナー画像は定期的に更新している。リンク先からさらに参加申込フォームへとリンクさせており、申込フォームから直接参加申込ができる。ウェブサイトからの申込受付は、開館時間外でも市民が各種プログラムに参加申込を行うことを可能にしている。



プログラムレポートと近日開催のプログラムの最新情報はトップページで確認することができる。

専用ウェブサイトを通して情報を得た方々よりプログラムの見学依頼をいただくこともあるため、参加者募集の告知や実施報告は丁寧に正確に発信できるように心がけている。特に実施報告は、来所・受講できない市民に対しても、成果をフィードバックするという点で重要である。



「IAHAIO について」のページではIAHAIOの紹介だけでなく、IAHAIO白書に基づいて事業を実施している旨を情報発信し、IAHAIO白書をダウンロードできるようにしている。

⑨センター広報

◎こうべ動物共生センター 公式Instagram

こうべ動物共生センターの公式Instagramは、投稿を含め環境衛生課で管理していただいている。フォロワーを増やすための広報として、PR用チラシ（A5サイズ）を作成して来所者に配布し、通りかかった市民の方々にもその場で気軽にフォローしていただけるように、事務室や猫のプレイルームにもチラシを掲示している。日々の共生センターの様子、事業の案内、しあわせの村内の季節の風景等については、スタッフが撮影した写真・動画を環境衛生課に送っている。



kobec.h.a.i フォロー中▼ メッセージを送信 検索 ...

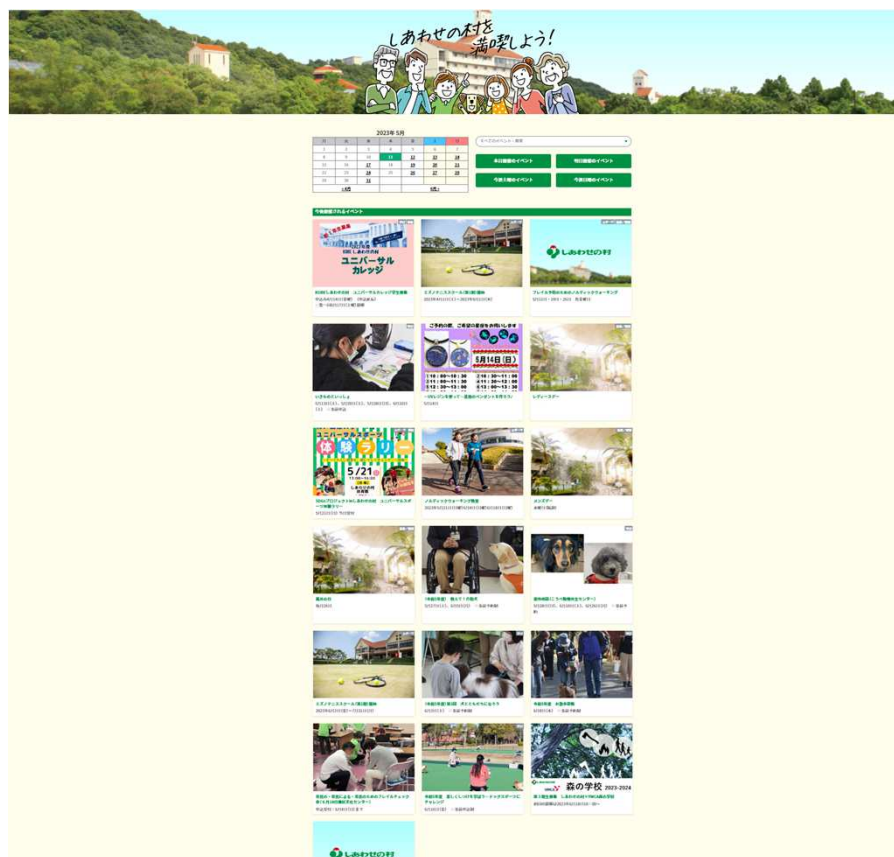
投稿365件 フォロワー1861人 フォロー中5人

【公式】こうべ動物共生センター
神戸市北区しあわせの村にある神戸市の施設「こうべ動物共生センター」の公式アカウントにゃ。2代目センター長の「ラビ」が、センターでの出来事や譲渡候補の犬猫たちの情報、しあわせの村の日常を紹介するにゃん。
kobe-chai.jp



◎しあわせの村ウェブサイト・SNS

しあわせの村（公益社団法人こうべ市民福祉振興協会）のウェブサイトやSNSで事業等の紹介をしていただいている。特にウェブサイトのイベント情報から、共生センターの事業を知り、参加申込をされる方も増えてきている。



しあわせの村ウェブサイトの「イベントカレンダー」では、村内の他施設と同様、こうべ動物共生センターの月ごとの開催事業を掲載していただいている。

⑨センター広報

【メディア実績】

新聞、テレビ、ラジオ等の取材依頼に応じた。

◎新聞

【令和4年度（取材日）】

- ・ 6月17日 朝日小学生新聞（マイクロチップ）
- ・ 9月25日 朝日新聞（センター長交代式）
- ・ 9月26日 読売新聞（二代目センター長就任）
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20220929-OYT1T50034/>
- ・ 11月3日 神戸新聞（老犬との暮らし方教室）

◎テレビ・ラジオ

事前に取材・収録を行い、下記のとおり放送された。（令和5年3月31日現在で視聴可能であったものはURLを併記している）

【令和4年度（収録日）】

- ・ 5月31日 NHK神戸放送局 関西のニュース（6月1日放送）
「マイクロチップについて」
- ・ 6月3日 読売テレビ かんさい情報ネットten.（6月9日放送）
「マイクロチップについて」
- ・ 8月19日 サンテレビ キャッチプラス（8月19日放送）
「動物愛護スクール開催」
https://www.youtube.com/watch?v=AugOWvELV_U
- ・ 9月25日 サンテレビ ニュースSUNデー（9月25日放送）
「センター長交代式」
<https://www.youtube.com/watch?v=2dKly1ZjbrA>
- ・ 11月21日 ラジオ関西 サンデー神戸（11月27日放送）
「開設1年！人と動物がお互いの関係を大切にするために」
<https://jocr.jp/sunday/repo/2231/>
- ・ 1月13日 サンテレビ キャッチプラス（1月19日放送）
「ペットの防災対策」
<https://www.youtube.com/watch?v=Opj6kVL06DE>



令和4年8月19日 サンテレビ



令和4年11月21日 ラジオ関西

⑨センター広報

【制作物】

こうべ動物共生センターを広く知っていただくため、リーフレット類や共生センターグッズ、事業のチラシ等を制作し、配布した。

◎クリアファイル

- ・犬と猫のキャラクターに**首輪無しのデザイン**のもの（写真左下）は、首輪のシールを作り、子どもたちに貼ってもらう仕掛けにし、迷子札の重要性を伝える教材とした。共生センターのオープン時より子どもを対象としたプログラムで参加者に配布、令和4年12月で配布を終えた。<令和3年度500部作成・共生センター在庫なし>
- ・犬と猫のキャラクターに**最初から首輪がついているデザイン**のもの（写真右下）は、プログラムに参加する子どもたちや、見学・視察に来られた方へ共生センター資料の配布時にお渡ししている。
<令和3年度1,000部作成・共生センター在庫160部（令和5年3月31日現在）>



◎紹介カード・リーフレット

共生センターオープン前に名刺サイズの共生センター紹介カードと、A5サイズのリーフレットを作成し、来所者、プログラム参加者に配布した。また、共生センターだけでなく、動物管理センターや市役所等でも配布している。

- ・**紹介カード**<令和3年度3,000部作成・共生センター在庫801部（令和5年3月31日現在）>
- ・**リーフレット**<令和3年度3,000部作成・共生センター在庫317部（令和5年3月31日現在）>



オープン前に作成したものであり、事業を紹介する写真などで構成できていないため、在庫がなくなる前に、新しい版の作成を検討したい。より多くの市民に配布することで、共生センターのPRが可能となり、来場者数の増加につながる。

⑨センター広報

◎マグカップ

オープン記念グッズとして作成、久元市長、小原副市長が視察に来られた際にお渡ししたほか、神戸市関係者、関係団体等に配布した。共生センター事務室では来客用に使用し、常に目につくところにセンターのコンセプトが見える工夫をしている。
 <令和3年度60個作成・共生センター在庫なし（令和5年3月31日現在）>



【事業チラシ】

◎令和4年度作成実績

事業（プログラム）の案内・参加者募集のため、アニマルセラピー 動物ふれあい事業、子どもを対象とした動物共生教育事業のチラシを作成し、専用ウェブサイトに掲載した。

- ・わんちゃん読書会（R.E.A.D.プログラム）
- ・獣医師体験プログラム
- ・犬とともにだちになろう
- ・いきものといっしょ
- ・「いのちの教育」プログラム

共生センターでのプログラムの参加者の方々に、他のプログラムのPRをさせていただくと共にチラシを配布した。

令和4年度 こうべ動物共生センター教育事業

犬に本を読み聞かせることで心の成長をうながす取り組みを「R.E.A.D. (リード) [Reading Education Assistance Dogs] プログラム」といいます



わんちゃん読書会 (R.E.A.D. プログラム)

神戸市・しあわせの村内「こうべ動物共生センター」ふれあい室

実施
予定

2022年

①4月29日(金・祝) / ②5月15日(日) / ③5月28日(土) / ④6月19日(日) /
⑤9月11日(日) / ⑥9月24日(土) / ⑦10月22日(土) / ⑧11月6日(日) /
⑨11月27日(日) / ⑩12月25日(日)

2023年

⑪1月29日(日) / ⑫2月23日(木・祝)

実施時間：14:00～15:00

※各回定員3名(対象：小学1～6年生)

子どもの識字能力の改善を目的にして、子どもが犬に本の読み聞かせを行うことによって、音読が苦手な子どもが自信を失うことなく意欲を育み、読書力の向上等の効果が期待できると共に自己肯定感を持てるようになり、犬との関わりを通して心の成長をうながすことを目的としたプログラムです。プログラムに参加して下さるお子さんを募集しています!



参加費
無料



犬は人間の
ことを笑ったり
しないので安心して
読むことが
できるよ



「うまく読まなくちゃ」とか「間違えたら叱られる」ということを気にせず、自分のことを否定せずに寄り添って耳を傾けてくれる犬は、子どもたちに安心感と自己肯定感を与えてくれます。

※専門家の適性をクリアした犬を使用し、大人のスタッフが付き添って適切な管理の元を実施いたします。

犬と一緒に
いてくれる
だけで
自信がわいて
くるんだ!



本を読むのは好きだけど
人前でになると緊張しちゃうんです...



わんちゃん
とふれあ
いなが
ら
本を
読ん
でみ
よう
う!

保護者の皆さまへ

アメリカでは、すでに動物を介在した医療の一環として行われている取り組みで、こうべ動物共生センターではAAA（動物介在活動）として実施します。犬は、人間が上手に読んだりそうでなかったりすることを評価したり、笑ったりすることはありませんので、自分に自信を持つことができない子どもが、犬との関わりを通して自己肯定感を持ち、心の成長を促すことを目的としています。

こうべ動物共生センターは、こうした取り組みの中で、最先端のAI技術等を使って、人と動物相互の影響を科学的に明らかにしていければと考えています。実施に際しては、下記の専門家のアドバイスや留意事項を遵守しながら行いますので、皆さまのご協力をお願い致します。



01

アドバイザー紹介

国内外のアドバイザーの先生方の協力のもと実施します。

- ・中山 裕之 先生（東京大学名誉教授／VISION VETS GROUP (VVG) Lab 学術役員・センター長）
- ・土居 裕和 先生（国士舘大学 理工学部 人間情報学系 准教授（学術博））
- ・柴内 裕子 先生（赤坂動物病院総院長／公益社団法人日本動物病院協会（JAHA）相談役）
- ・島村 俊介 先生（大阪公立大学（旧大阪府立大学））
- ・木下 美也子 先生（※1 グリーン・チムニーズ&ファーム サム&マイラ・ロス研究所 教育プログラム部長・神戸市出身）
- ・アンドレア・ビーツ 先生（MA 心理学／博士号（心理学）／博士号（特殊教育）特別・インクルーシブ教育教授 IU 国際応用科学大学・ドイツ）

※1 グリーン・チムニーズ（アメリカ・ニューヨーク州）とは：情緒障害・学習障害等を持つ子どもを治療するための長期療養型施設。自宅から通学する子どももいるが、半数は寄宿舎で暮らし、生活も共にしている。自然や動物たちに囲まれた環境の中で、その自然や動物との関わりを通して命あるものを大切にすることを育み、自己肯定感につながる教育を行っている。子どもたちは、専門家によるサポートを受けながら、社会復帰を目指す。

02

ご協力いただきたい内容（対象：小学1～6年生）

次の3つのパターンで適性がある犬を相手に本を読み聞かせてデータを取り、心理・認知的効果を調査します。 ※神戸市と大学等の専門機関の個人情報保護基準に則って実施します。

① 犬に向けた音読 ② ヒトに向けた音読 ③ 一人での音読 ※各10分程度を予定

- ・音読中の表情 ※2（表現力・心理状態の指標）
- ・音読音声の特徴 ※3（表現力・理解度の指標）
- ・音読後の文章内容に関する記憶（理解度の指標）
- ・音読に対する意識のアンケート調査

※2 表情認識のAIを使用

※3 録音音読音声を専用ソフトで分析

03

留意事項

- ① 取得したデータや動画などの個人情報については、神戸市及び大学等の専門機関の基準に沿って管理します。
- ② お子さんが楽しんで参加してもらえることを最優先します。
- ③ 動物にストレスを与えないため、適正な実施方法を遵守して実施します。
- ④ 専門家による判定をクリアした動物を使用します。
- ⑤ 保護者同伴でご参加いただけます。



【こうべ動物共生センターとは？】 <https://kobe-chai.jp/>
こうべ動物共生センターは、「Kobe Center for Human-Animal Interaction」という英語名が示すとおり、「人と動物の相互」の関係を大切にし、その影響を科学的に解明し、市民にフィードバックしていくような「共生」を柱とした事業を行います。



問合せ先 こうべ動物共生センター

電話：078-747-3061 メール：info@kobe-chai.jp

こうべ動物共生センター教育事業

参加者募集!

獣医師体験プログラム

参加費
無料



実施
予定

2022年5月22日(日)／6月25日(土)※同日に2回開催／7月29日(金)／

8月4日(木)／8月22日(月)／9月4日(日)／9月23日(金・祝)／

10月15日(土)※同日に2回開催／11月23日(水・祝)／12月10日(土)／

2023年2月26日(日) ※各回定員12名(小中学生)

開催日が変更になる場合がございますので、申し込みの際にウェブサイトでご確認下さい。

神戸市・しあわせの村内「こうべ動物共生センター」ふれあい室

人と動物の関わりには
長い歴史があります



獣医師の仕事は、感染症や食品衛生、ペットとの暮らしや産業動物の飼育、環境問題など、人が生活していく上で必要な多くの分野に関わっています。そうした幅広い獣医師の世界を体験し、学びを深めることにより、人と動物の共生とは、人の生活に深く関わるものであることへの気付きを促し、様々な人と動物の共生の在り方についての理解を深めます。

また、専門家として現場に関わっているプロに接することで、子どもたちの職業選択の視点を広げることにもつながります。プログラムに参加してくださるお子さんを募集しますので、ご協力よろしくお願いいたします。

水族館や動物園にいる動物たちのお世話も獣医師の仕事だよ



楽しみながらいろんな動物との
関わりについて学ぶことができるよ

01

アドバイザー紹介

獣医師のアドバイザーの協力の監修のもと実施します。

・堀尾 政博 先生（獣医師／獣医学博士）

参加予約方法



こうべ動物共生センターのウェブサイトからご予約ください。

<https://kobe-chai.jp>



02

実施内容

小動物／大動物／産業動物／野生動物／動物園／水族館／食品衛生／公衆衛生／公務員の9つの分野で、様々な獣医師の仕事を知るためのプログラムを体験します。

開催日時	タイトル(案)	分野	協力依頼	到達目標
2022年 5月22日(日) 14:00~15:00	お肉はどこから来るの?	食品衛生	神戸市食肉衛生検査所	人間は、動物の「いのち」をいただくことによって生きていくことができる。適切な環境で家畜を飼育して家畜に対する福祉を担保しつつ、安心・安全な食肉を提供するために必要なことを学ぶ。
6月25日(土) ①13:00~14:00 ②14:30~15:30	水族園動物のお医者さん	水族館	神戸市立須磨海浜水族園	水族園には多様な生きものが暮らしています。その健康を守るには、本来の生育環境や生態を背景とした生きものの特徴を知ることが大切です。水族園で暮らす動物たちの病気や治療についてお話をします。
7月29日(金) 14:00~15:00	多様な動物が生きる「地球」という環境	動物園	神戸市立王子動物園	地球(動物園)には様々な種類の動物が生活しているが、それぞれ生きていくために必要な食べ物や環境などが違う。そうした多様な生物が生きていくことができる地球を持続可能な環境として保持するために必要なことを学ぶ。
8月4日(木) 14:00~15:00	感染症って何?	公衆衛生	大学研究者	新型コロナウイルスの感染症拡大の只中である現在、動物由来の感染症についての正しい知識を学習し、日常生活における感染症対策の重要性を知る。
8月22日(月) 14:00~15:00	公務員としての獣医さんの仕事	公務員	神戸市健康局環境衛生課	公務員獣医師の仕事は、食の安全の確保、人獣共通感染症対策、動物愛護や福祉の増進、野生動物保護等自然環境保全対策等の広範な分野にわたるが、その中の動物愛護や福祉の増進について学び、人と動物の幸せな共生について考える。
9月4日(日) 14:00~15:00 (小学校低学年対象) 9月23日(金・祝) 14:00~15:00 (小学校高学年・中学生対象)	野生動物との共生	野生動物	株式会社野生動物保護管理事務所	里山では野生動物による農作物の被害が多発しているが、なぜそういったことが起こるのかを学ぶ。地球は人間だけのものではなく、多くの野生動物や昆虫などの生き物が共に生きる場所であることを知り、どうすれば野生動物と共生できるのかを考える。
10月15日(土) ①13:00~14:00 (小学校低学年対象) ②14:30~15:30 (小学校高学年・中学生対象)	いちばん身近な存在「ペット」の健康と幸せを守るには	小動物	大阪公立大学獣医学研究科	人間にとっていちばん身近に存在する動物「ペット」の健康と幸せ(福祉)を守るためには、どういったケアが必要なのかを学び、飼い主が日常的に健康状態を観察して獣医師と連携してペットの健康を守ることの大切さを学ぶ。
11月23日(水・祝) 14:00~15:00	人と共に生きてきた馬について	大動物	馬事公苑／大阪公立大学獣医学研究科	小型のペットとは違い、人間よりも大きな動物には特別な世話や医療が必要であることを学ぶと同時に、人が馬と共に生きてきた歴史を知ることによって共生という概念を理解する。
12月10日(土) 14:00~15:00	身近な大動物・牛	大動物	開業獣医師	小型のペットとは違い、人間よりも大きな動物には特別な世話や医療が必要であることを学ぶと同時に、牛が私たちの生活のあらゆる場面で関わりを持っていることを理解する。
2023年 2月26日(日) 14:00~15:00	私たちの暮らしと動物との関わり	産業動物	兵庫県農業共済組合(神戸市立六甲山牧場)	人間は様々な動物との関わりの中で恩恵を受けて生きていることに気づき、それらの恩恵に感謝をする気持ちを学ぶ。

※内容が変更になる場合がございます。



【こうべ動物共生センターとは?】こうべ動物共生センターは、「Kobe Center for Human-Animal Interaction」という英語名が示すとおり、「人と動物の相互」の関係を大切に、その影響を科学的に解明し、市民にフィードバックしていくような「共生」を柱とした事業を行います。

問合せ先 こうべ動物共生センター 〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番21号
電話：078-747-3061 FAX：078-747-3062 メール：info@kobe-chai.jp

こうべ動物共生センター教育事業

参加者募集!

犬とともにだちになろう



実施
予定

2022年
①4月17日(日) / ②6月4日(土) / ③10月9日(日) /
④10月30日(日) / ⑤12月17日(土)
2023年
⑥3月11日(土) **実施時間: 14:00~15:00**
※各回定員12名(対象:小学1~6年生)

参加費
無料

ワンちゃんと一緒に 「いのち」への共感を 学ぼう!



こうべ動物共生センターの
サイトからご予約ください

実際のワンちゃんに接しながら、クイズや心臓の音を聞くなどのプログラムをとおして、「いのち」を実感しながら犬の気持ちについて学びます。
犬との接し方を学ぶことで、咬傷事故を予防するだけでなく、ワンちゃん(他者)の気持ちを想像したり寄り添う気持ちの大切さを考えるきっかけを与えます。

※このプログラムでは、適正飼養アドバイザーにより推奨された適性のある犬にお手伝い頂きます。

こうべ動物共生センターにおける教育プログラムは、動物介在介入と動物介在活動の定義と活動動物の福祉のガイドラインである「IAHAIO 白書」に基づいて実施されます。

※IAHAIO (International Association of Human-Animal Interaction Organizations) とは、人と動物との相互作用の正しい理解を促進させるために各国で活動している学会、協会等の国際的な連合体として、米国の Delta Society (現 PetPartners)、フランスの afirac、イギリスの SCAS が中心となって 1992 年に設立。人と動物の相互作用の分野を進歩させるため、国際的な指導力を提供することを使命としている団体です。



このワンちゃんは
今、どんな気持ちかな…



【こうべ動物共生センターとは?】 こうべ動物共生センターは、「Kobe Center for Human-Animal Interaction」という英語名が示すとおり、「人と動物の相互」の関係を大切に、その影響を科学的に解明し、市民にフィードバックしていくような「共生」を柱とした事業を行います。

問合せ先 こうべ動物共生センター 〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番21号
電話: 078-747-3061 FAX: 078-747-3062 メール: info@kobe-chai.jp

こうべ動物共生センター教育事業

参加者募集!

いきものといっしょ

～みぢかなどうぶつに目をむけてみよう

実施
予定

【毎週土曜日 10:30～11:30 実施】

神戸市・しあわせの村内「こうべ動物共生センター」ふれあい室

冊子とオリジナルクリアファイルもお持ち帰り頂けます!

参加費
無料



神戸市は海と山、都会と田園地帯など、多様な環境が混在する地域です。そうした環境にはたくさんのいきものが人間と共に生活しています。そうしたいきものとの関わりを、まちがい探しくイズなどが掲載された冊子を使って学習することができます。

この街で共に生きるいきもの
について考えてみよう



<https://kobe-chai.jp/>

こうべ動物共生センターのサイトからご予約ください。

【こうべ動物共生センターとは?】 こうべ動物共生センターは、「Kobe Center for Human-Animal Interaction」という英語名が示すとおり、「人と動物の相互」の関係を大切にし、その影響を科学的に解明し、市民にフィードバックしていくような「共生」を柱とした事業を行います。

問合せ先 こうべ動物共生センター 〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番21号

電話：078-747-3061 FAX：078-747-3062 メール：info@kobe-chai.jp



こうべ動物共生センターにおける教育事業ご協力のお願い 実施協力校(クラス)を募集しています！



動物共生教育（「いのちの教育」プログラム）

【令和4年度に2回実施（3つのプログラムで構成）・参加費無料】

アクティブラーニングの手法を用いて、すでに多くの自治体での導入実績がある奈良県「いのちの教育」プログラムは実施した小学校の評価も高く、全国の自治体職員や教育関係者が研修に参加し、すでに多くの自治体でも導入されています。

奈良県「いのちの教育」研究協議会（会長・国立大学法人奈良女子大学の天ヶ瀬正博教授、副会長・公益社団法人 Knots 理事長）が設置され、プログラムの内容を適宜ブラッシュアップし、教育効果の測定と効果の向上を実現する工夫を行っている先進的な取り組みです。このプログラムの実施に協力をして下さる学校（クラス）を募集しています（ご説明にお伺いさせていただきます）。

「いのちの教育プログラム」で使用するツール

・3つのエリアを示す扇形のパネル ・20種類の張り子の動物たち（イノシシ、ブタなど=45~50cm）

ボクたちは自然の中で自分の力で生きています！

私たちは野生動物も豊かな自然に安心します

野生動物

ボクたちは人間と一緒に生活しています！

私たちはペットと暮らすことで楽しい気持ちをもたらしています

ペット

私たちは家畜を利用して健康をもらっています

家畜

私たちは牧場で人間に世話をしてもらっています！

実施の様子

01 実施方法

1体 45~50cm ほどある大型の張り子の動物 20 体とパネル類を使用し、それらの動物を子どもたちが動かしながら人との関わりを学びます。

また、個々に配られたホワイトボードに書いたり、拡張心音計で自分と友達の心臓の音を聞き比べたりして、子どもたちが積極的に参加しながら実施します。

実施完了後は各学校と連携をして「ふりかえり」を行い、実施後に子どもたちの意識がどのように変化したのか調査・分析を行います。

02

こころの成長に必要な3つの要素を学ぶことができます

「いのちの教育」プログラムは、以下の3つのプログラムに分かれています。それぞれのプログラムで、「気づき」「共感」「責任」について学ぶことができます。

プログラムⅠ 私たちと動物の関わり **気づき**
(私たちと動物とのつながり)

プログラムⅡ 動物たちと私たちの「いのち」は同じ **共感**
(動物たちの気持ちを考えよう)

プログラムⅢ 動物たちのために私たちにできること **責任**
(私たちが動物たちに果たす責任)



子どもたちが、手作りの大型張り子を運びながら、人間と動物との関わりに「気づき」、そして彼らの《いのち》に対する「共感」と「責任」を学びます。

03

学校の先生や保護者、子どもたちからも高い評価を受けています！

「いのちの教育」プログラムは、学校の様々な場面で実施可能です。こうべ動物共生センターの職員が実施いたしますが、先生方に実施方法をお伝えさせて頂き、自校式としての実施も可能です。

- ・プログラムのツール一式が揃っているので手間がかかりません。
- ・道徳や生活科の授業などで、「生命尊重」の授業として実施できます。
- ・授業参観でも実施可能。
- ・遠足と組み合わせて実施もできます。



アクティブラーニングの手法を用いているため、子どもたちが積極的に授業に参加する内容になっています。発言が苦手な子どもでも「書く」という行為や、相談しながら動物を「運ぶ」行為、自分と友達の心臓の音を聴き比べて「感じる」という手法も取りれており、子どもたちの関心を惹き付ける工夫がなされています。

【こうべ動物共生センターとは？】 <https://kobe-chai.jp/>

こうべ動物共生センターは、「Kobe Center for Human-Animal Interaction」という英語名が示すとおり、「人と動物の相互」の関係を大切にし、その影響を科学的に解明し、市民にフィードバックしていくような「共生」を柱とした事業を行います。



問合せ先 こうべ動物共生センター 〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番21号
電話：078-747-3061 FAX：078-747-3062 メール：info@kobe-chai.jp